

第8回学習・懇談会

主催／住まい・福祉・まちづくりネットワーク
(NPO 法人建築ネットワークセンター)

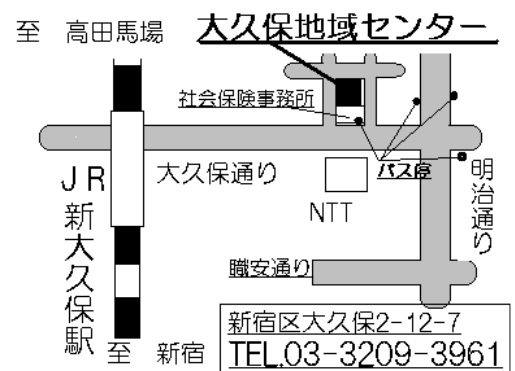
3・11その時、 医療や介護の現場では

無縁社会から絆社会へ (第2弾)

第8回目の「住まい・福祉・まちづくりネットワーク」の勉強会を下記のように企画しました。

今回の勉強会は、3月11日に起きた東日本大震災から何を学び、もし、身近なところで起きたらその備えは、などの問題を住まいと福祉から考えていこうという企画です。

医療・介護の現場から報告してもらい、「絆社会を取り戻すには?」「国や自治体の公的責任と役割は?」「安心・安全の住宅とは?」などの問題をみなさんと討論していきたいと思っています。ぜひ、ご参加ください。



●とき 7月15日(金)

午後6時開場、6時30分開会 (8時45分閉会予定)

●ところ 大久保地域センター(3階A会議室)

●かいひ 500円(資料代)

●報告

◎東日本大震災から見えてきた高齢者介護での公的責任の重要性

鐘ヶ江正志 (住まい・福祉・まちづくりネットワーク代表)

◎その時、介護事業者がとりくんだこと

阿部孝史 (代々木病院介護福祉部長)

◎被災地へ医療支援の活動に参加して

斎藤恵子 (東京保健生協介護事業部長・保健師)